

住所 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学法学部研究室内  
代表理事 柳井 俊二

当法人の 2024 年度終了に伴い、以下の通りご報告申し上げます。

## 1. 会員総会

定時会員総会を 2024 年 4 月 27 日 17 時 10 分ー 17 時 30 分に東京大学法学部 31 番教室（東京都文京区本郷 7-3-1）において行った。議事の詳細は資料 A を参照。

## 2. 理事会

2024 年 4 月に、第 1 回理事会を、定款 32 条に従い書面方式により開催した（4 月 1 日発信。決議があったものとみなされた日：4 月 8 日）。議事の詳細は資料 B を参照。

2024 年 5 月に、第 2 回理事会を、定款 32 条に従い書面方式により開催した（5 月 1 日発信。決議があったものとみなされた日：5 月 17 日）。議事の詳細は資料 C を参照。

2024 年 11 月に、第 3 回理事会を、定款 32 条に従い書面方式により開催した（11 月 5 日発信。決議があったものとみなされた日：11 月 27 日）。議事の詳細は資料 D を参照。

## 3. 事業活動その 1 研究活動

国内研究大会は 2024 年 4 月 27 日に、東京大学法学部 31 番教室及びオンラインでのハイブリッド方式にて開催した。詳細は資料 E を参照。

## 4. 事業活動その 2 出版活動

英文国際法年鑑 (Japanese Yearbook of International Law) 第 67 巻の出版を行った。同巻は 2025 年 2 月に刊行された。同巻の目次は資料 F を参照（同巻は各会員に郵送済）。

## 資料 A 一般社団法人国際法協会日本支部 2024 年度定時会員総会議事録

日時：2024 年 4 月 27 日（土）17 時 10 分－17 時 30 分

場所・形式：東京大学法学部 31 番教室（東京都文京区本郷 7-3-1）及び ZOOM によるハイブリッド形式での開催

会員総数： 324 名

出席者及び委任状提出者の総数： 197 名

柳井俊二代表理事が「出席者及び委任状提出者の総数が 197 名ゆえ、定足数を満たし本総会は有効に成立した」旨を宣言し、議事に入った。

審議事項 1：2023 年度事業報告及びその附属明細書、同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書、並びに同年度公益目的支出計画実施報告書の承認の件

2023 年度事業報告及びその附属明細書、同年度公益目的支出計画実施報告書並びに同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書について、熊倉業務執行理事から会計関係につき、中谷業務執行理事から庶務関係につき、柳原理事から研究大会及び国際委員会関係につき、森理事から年鑑編集関係につき、それぞれ説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項 2：2024 年度事業計画及び同年度予算案の件

2023 年度事業計画及び同年度予算案について、熊倉業務執行理事から会計関係につき、中谷業務執行理事から庶務関係につき、柳原理事から研究大会及び国際委員会関係につき、森理事から年鑑編集関係につき、それぞれ説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項 3：新入会員及び特別会員の承認の件

中谷業務執行理事より、理事会としては、通常会員として、高崎理子・中央大学兼任講師、越智萌・立命館大学准教授、長谷川貴陽史・東京都立大学教授、田村恵理子・宮崎公立大学准教授、若狭彰室・東京経済大学准教授、川岸伸・静岡大学教授、伊達竜太郎・沖縄国際大学教授、菅原絵美・大阪経済法科大学教授、増田史子・岡山大学教授の 9 名を会員総会に推薦することとしたので、会員総会においてはこれら 9 名を新入会員としてご承認頂きたい旨が諮られ、全員一致、これを承認した。

中谷業務執行理事より、理事会としては、特別会員として、中村和彦・国際法局審議官、馬場隆司・条約課長、細野淳一・社会条約官、間瀬博幸・経済条約課長の 3 名を前任者に代えて会員総会に推薦することとしたので、会員総会においてはこれら 3 名を特別会員としてご承認頂きたい旨が諮られ、全員一致、

これを承認した。

これにより、会員数は 333 名（通常会員 318 名、維持会員 9 名、特別会員 6 名）となる。

#### 審議事項 4：理事・監事の選任の件

2022 年 4 月 30 日の会員総会で選任された理事全員の任期が本会員総会終結時で満了となるため、理事の選任を行い、今期の理事には、畑場準一、浅田正彦、伊藤一頼、岩沢雄司、植木俊哉、奥脇直也、小和田恒、兼原敦子、熊倉禎男、坂元茂樹、櫻田嘉章、鈴木正貢、塚原弓（西村弓）、寺谷広司、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、長嶺安政、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、御巫智洋、森肇志、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介、渡辺光 の 29 名を、全員一致で選任した（任期は 2026 年会員総会終了時まで）。また、監事の任期も本会員総会終結時で満了となるため、監事の選任を行い、今期の監事には、川村明、齋木尚子の 2 名を、全員一致で選任した（任期は 2028 年の会員総会終了時まで）。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人として選出された、柳井俊二（代表理事・議長）、熊倉禎男（業務執行理事）、中谷和弘（業務執行理事）は、次に記名押印する。

2024 年 4 月 28 日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 柳井俊二

業務執行理事 熊倉禎男

業務執行理事 中谷和弘

議事録作成者 理事 伊藤一頼

#### 資料 B 一般社団法人国際法協会日本支部 2024 年度第 1 回理事会(書面方式) 議事録

定款 32 条に従い書面方式により第 1 回理事会を開催した。

日時：2024 年 4 月 1 日発信

発信者：業務執行理事・庶務主任 中谷和弘（提案をした理事）

承諾回答理事（全理事 28 名）：畑場準一、浅田正彦、伊藤一頼、岩沢雄司、植木俊哉、奥脇直也、小和田恒、兼原敦子、熊倉禎男、坂元茂樹、櫻田嘉章、鈴木正貢、寺谷広司、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、西村弓、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、御巫智洋、森肇志、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介、渡辺光

審議事項 1：2023 年度事業報告及びその附属明細書、同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書、並びに同年度公益目的の支出計画実施報告書の承認の件

2023 年度事業報告及びその附属明細書、並びに同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書について、全員一致、これを承認した。あわせて、2023 年度公益目的の支出計画実施報告書について、全員一致、これを承認した。

審議事項 2：2024 年度事業計画及び同年度予算案の件承認の件

2024 年度事業計画及び同年度予算案について、全員一致、これを承認した。

審議事項 3：新入会員及び特別会員の件

通常会員につき 7 名（長谷川貴陽史・東京都立大学教授、田村恵理子・宮崎公立大学准教授、若狭彰室・東京経済大学准教授、川岸伸・静岡大学教授、伊達竜太郎・沖縄国際大学教授、菅原絵美・大阪経済法科大学教授、増田史子・岡山大学教授）について、前回の理事会で承認した 2 名（高崎理子・中央大学兼任講師、越智萌・立命館大学准教授）とあわせて会員総会に推薦することについて、全員一致、これを承認した。特別会員につき、全会の理事会で承認した通り、中村和彦・国際法局審議官、馬場隆司・条約課長、細野淳一・社会条約官、間瀬博幸・経済条約課長を特別会員として前任者に代えて会員総会に推薦することとした。

審議事項 4：理事・監事の選任の件

次期（2024 年会員総会から 2026 年会員総会終了時まで）の理事につき、畑場準一、浅田正彦、伊藤一頼、岩沢雄司、植木俊哉、奥脇直也、小和田恒、兼原敦子、熊倉禎男、坂元茂樹、櫻田嘉章、鈴木正貢、塚原弓（西村弓）、寺谷広司、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、長嶺安政、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、御巫智洋、森肇志、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介、渡辺光の 29 名を候補として会員総会に推薦することについて、全員一致、これを承認した。

次期（2024 年会員総会から 2028 年会員総会終了時まで）の監事につき、川村明及び齋木尚子の 2 名を候補として会員総会に推薦することについて、全員一致、これを承認した。

決議があったものとみなされた日 2023 年 4 月 8 日

以上、この議事録が正確であることを証するため、柳井俊二(代表理事)、川村明(監事)、齋木尚子(監事)は、全理事からの承諾回答を確認の上、次に記名押印する。

2024年4月8日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事 柳井俊二

監事 川村明

監事 齋木尚子

### 資料C 一般社団法人国際法協会日本支部 2024年度第2回理事会(書面方式)議事録

定款32条に従い書面方式により第2回理事会を開催した。

日時：2024年5月1日発信

発信者：業務執行理事 中谷和弘(提案をした理事)

承諾回答理事(全理事29名)：舩場準一、浅田正彦、伊藤一頼、岩沢雄司、植木俊哉、奥脇直也、小和田恒、兼原敦子、熊倉禎男、坂元茂樹、櫻田嘉章、鈴木正貢、寺谷広司、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、長嶺安政、西村弓、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、御巫智洋、森肇志、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介、渡辺光

(各理事の承諾回答を添付)

審議事項1：今期の代表理事、副代表理事、業務執行理事の選任

定款21条2項に従い、代表理事、副代表理事、業務執行理事(2名)を理事会の決議によって理事の中から選任することとし、代表理事には柳井俊二を、副代表理事には道垣内正人を、業務執行理事には柳原正治と中谷和弘を選任することについて、全員一致、これを承諾した。

審議事項2：今期の各主任の選任

主任規程に従い、各主任を理事会の決議によって理事の中から選任することとし、会計主任には渡辺光を、庶務主任には寺谷広司を、編集主任には森肇志を、研究企画主任には植木俊哉を、全員一致により選任した。

決議があったものとみなされた日 2024年5月17日

以上、この議事録が正確であることを証するため、柳井俊二(代表理事・議長、被選任代表理事)、川村明(監事)、齋木尚子(監事)は、全理事からの承諾回答を確認の上、次に記名押印する。

2024年5月20日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長）、被選任代表理事 柳井俊二

監事 川村明

監事 齋木尚子

議事録作成者 業務執行理事 中谷和弘

#### 資料 D 一般社団法人国際法協会日本支部 2024年度第3回理事会(書面方式) 議事録

定款 32 条に従い書面方式により第 3 回理事会を開催した。

日時：2024年11月5日発信

発信者：理事・庶務副主任 伊藤一頼

承諾回答理事（全理事 28 名）：畑場準一、浅田正彦、伊藤一頼、岩沢雄司、植木俊哉、奥脇直也、小和田恒、兼原敦子、熊倉禎男、坂元茂樹、櫻田嘉章、鈴木正貢、寺谷広司、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、長嶺安政、西村弓、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、森肇志、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介、渡辺光

#### 議題

審議事項 1：2024年度事業経過及び同年度予算執行状況の件

2024年度上半期事業状況及び同年度中間決算（案）について、全員一致、これを承認した。

審議事項 2：新入会員及び特別会員の件

通常会員につき 2 名（徳永実希、安藤由香里）を来年 4 月の会員総会に新入会員として推薦することについて、全員一致、これを承認した。

特別会員につき、本年 4 月開催の総会以降に新たに就任した外務省国際法局長、国際法局審議官、国際法課長につき、前任者に代えて来年 4 月の会員総会に特別会員として推薦することについて、全員一致、これを承認した。また、国際

法局長につき、来年4月の会員総会に理事として推薦することについて、全員一致、これを承認した。

### 審議事項 3：来年度の研究大会及び会員総会の件

来年度の研究大会及び会員総会は、2025年4月26日（土）に東京大学において開催することについて、全員一致、これを承認した。

決議があったものとみなされた日 2024年11月27日

以上、この議事録が正確であることを証するため、柳井俊二(代表理事)、川村明(監事)、齋木尚子(監事)は、全理事からの承諾回答を確認の上、次に記名押印する。

2024年11月30日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事 柳井俊二

監事 川村明

監事 齋木尚子

議事録作成者 業務執行理事 中谷和弘

### 資料 E 2024 年度国内研究大会

2024年4月27日（土）13時より17時10分まで 東京大学（本郷キャンパス）法学部31番教室及びZOOMのハイブリッド形式にて開催した。共通テーマは「経済安全保障のあり方」であり、次の報告及び質疑応答がなされた。中川淳司(中央学院大学教授)「経済安全保障のあり方—総論」、飯田陽一(内閣府政策統括官[経済安全保障担当])「経済安全保障を巡る最近の動向」、福永有夏(早稲田大学教授)「『経済的威圧』への対応—国際法上の評価」、嶋拓哉(北海道大学教授)「経済安全保障—国際私法・国際取引法の観点から」。

### 資料 F 英文国際法年鑑 (Japanese Yearbook of International Law) 第 67 巻の目次

## Volume 67 (2024)

## CONTENTS

## ARTICLES

## NEW FRONTIERS OF STATE JURISDICTION

Introductory Note .....	<i>Akio Morita and Mari Takeuchi</i>	1
Weaponizing Economic Interdependence via Extraterritorial Chokepoint Jurisdiction: An International Law Perspective .....	<i>Cedric Ryngaert</i>	4
Limits of State Jurisdiction in Cyberspace — The Legality of the Cross-Border Remote Access and the Use of Policeware — .....	<i>ISHII Yurika</i>	26
Port State Jurisdiction as Universal Jurisdiction over Fisheries .....	<i>Makoto Seta</i>	57
Changes in the Legal Structure of the <i>Aut Dedere Aut Judicare</i> Principle — Focusing on the Requirements for the Obligation to Exercise Jurisdiction — .....	<i>Takayo Ando</i>	84
Theoretical Analysis of Conflicting Approaches on State Jurisdiction — Focusing on “ <i>Liberté</i> ” and Conflicting “Basic Positions” — .....	<i>MORITA Akio</i>	126

## LEGAL ANALYSIS ON SUCCESSION SUBSTITUTES

Introductory Note .....	<i>Dai Yokomizo</i>	162
The Potential and Limitations of Contracts That Function as Succession Substitutes .....	<i>OSHIMA Lisa</i>	164
Succession Substitutes and Japanese Conflict of Laws: Including the Possibility of Introducing Limited <i>Professio Juris</i> to Japanese Choice-of-Law Rule Relating to Succession .....	<i>Dai Yokomizo</i>	180
Conflict-of-Law Issues Regarding Succession Substitutes with a Focus on Trusts .....	<i>Takami Hayashi</i>	195
The Law Applicable to Succession Substitutes: European Perspective .....	<i>Charlotte Wendland</i>	214

Succession Substitutes and Taxation  
— An Analysis from the Perspective of Party Autonomy and Tax  
Neutrality — ..... *Takeshi Fujitani* 253

**HUMAN RIGHTS APPROACH TO REGULATE ARMED CONFLICTS:  
BEYOND THE *LEX GENERALIS/SPECIALIS* FRAMEWORK: PART TWO**

The Other Side of the Human Rights Approach to the Reparation for  
Victims of Armed Conflict  
— The Coalition of the Sword and Shield Function for Transformative  
Reparation — ..... *Megumi Ochi* 272

Occupation, the Right to Self-Determination, and the Law  
..... *Yaël Ronen* 296

Digging the Skewed Gendered Surface  
— The Rights of Female Prisoners of War Under International  
Humanitarian Law — ..... *Yutaka Arai-Takabasbi* 333

Conclusion: Why Do We Tend to Apply International Human Rights Law  
to Armed Conflicts? ..... *Shuichi Furuya* 394

**JAPANESE DIGEST OF INTERNATIONAL LAW**

Act on the Promotion of Ensuring National Security Through Integrated  
Implementation of Economic Measures ..... *Yoshinori Abe* 404  
*Promotion of Economic Security — Concept of Economic Security — Basic  
Policy of the Act — Four Systems of Economic Security Policy — Ensuring a  
Stable Supply of Critical Products — Ensuring the Stable Provision of Essential  
Infrastructure Services — Enhancing Development of Critical Technologies —  
Non-Disclosure of Selected Patent Applications — Sincere Implementation of  
International Agreements — Relationship with WTO Agreements*

National Security Strategy of Japan ..... *Tatsuya Abe and Yurika Ishii* 419  
*Background — New National Security Strategy of Japan — Counterattack  
Capabilities — Active Cyber Defense — Space Security Policies and International  
Cooperation*

The Ainu Policy Promotion Act (2019) ..... *Yuko Osakada* 432  
*Ainu People — Indigenous People of Japan — The United Nations Declaration  
on the Rights of Indigenous Peoples — The Ainu Policy Promotion Act —  
Recognition of Indigenous Status — Grant Delivery — Non-Discrimination*

## CASES AND ISSUES IN JAPANESE PRIVATE INTERNATIONAL LAW

- Breach of the Arbitrator's Obligation of Disclosure in Article 18(4) of the Arbitration Act ..... Yusuke Tanemura 446
- Application *Mutatis Mutandis* of Art. 117(1) of the Child Abduction Convention Implementation Act to a Return Agreement in an In-Court Conciliation ..... Naobiro Kitasaka 460

## BOOK REVIEWS

- Kokusaikeizaishakaiho de Heiwa o Tsukuru* [Creating Peace by International Economic-Social Law], by Shin-ichi Ago. Tokyo: Shinzansha, 2022. Pp. xi, 205. .... Naozumi Kurokami 471
- Non-Rufurumangensoku to Gaikokujin no Taikyokyosei* [Non-Refoulement Principles and the Deportation of Foreigners], by Yukari Ando, Tokyo: Shinzansha, 2022. Pp. viii, 330. .... Miyako Tatematsu 474
- Okinawa no Hikinobasareta Senryo: "Amerika Yu" no Hoteki Kiban* [Prolonged Occupation of Okinawa: Legal Framework of "Era of America"], by Kyo Arai. Tokyo: Yuhikaku, 2023. Pp. viii, 349. .... Tetsuya Yamada 477
- Nittaikeizaikoryu to Kokusaibo* [Japan-Taiwan Economic Exchanges and International Law], edited by Hiroyuki Banzai. Tokyo: Seibundo, 2022. Pp. xii, 334. .... Masahiro Kurosaki 481
- Naisei Kansho no Kokusaibo — Ho no Tekiyo Mondai eno Rekishiteki Shiza* [Intervention in the Internal Affairs of States and International Law: A Historical Perspective on the Applicability of International Law] by Iwao Fujisawa. Tokyo: Iwanami Shoten, 2022. Pp. xii, 367. .... Tatsuya Abe 486
- Corporate Environmental Responsibility in Investor-State Dispute Settlement: The Unexhausted Potential of Current Mechanisms*, by Tomoko Ishikawa. Cambridge and New York: Cambridge University Press, 2023. Pp. xxxix, 302. .... NISUGI Kento 489
- Saibankan Taiwa: Kokusaika suru Shibo no Kyodo to Kobo* [Judicial Dialogue: Cooperation and Competition Among Courts and Tribunals], edited by Yoichi Ito, Tokyo: Nihon Hyoronsha, 2023. Pp. xxiii, 322. .... Shinji Tokugawa 492
- Domestic Application of International Law: Focusing on Direct Applicability*, by Yuji Iwasawa. Leiden: Brill, 2023. Pp. xxix, 314. .... SHIN Hae Bong 498

<i>Kokusaikankei to Ho no Shibai: OWADA Hisashi Kokusaishibosaibansho Saibankan Tainin Kinen</i> [International Relations and the Rule of Law: Festschrift for Judge Hisashi Owada in Commemoration of His Retirement from the International Court of Justice], edited by Yuji Iwasawa and Masataka Okano, Tokyo: Shinzansha, 2021. Pp. xxiii, 1446. ....	Kei Nakajima	501
<i>Chugoku ni okeru Kokusaitoribikifunso Kaiketsubo</i> [International Commercial Dispute Resolution Law in China], by Yukio Kajita. Tokyo: Nihonhyoronsha, 2022. Pp. 344. ....	Xi Feng	506
<i>Kokusaibotetsugaku no Fukken</i> [Reclaiming the Philosophy of International Law], by Shun Kaku. Tokyo: Kobundo, 2022. Pp. iv, 299. ....	Ryoshi Fukushima	510
<i>Tagensbugi no Kokusaibo — Kokurenbo to Jinkenbo no Kosaku —</i> [Pluralism and International Law: The Intersection Between United Nations Law and Human Rights Law], by Akira Kato. Tokyo: Shinzansha, 2022. Pp. xii, 415. ....	Takao Suami	513
<i>Kokusaidairishokeiyakubo no Kenkyu</i> [International Aspects of the Law of Commercial Agency], by KIM Mihwa. Tokyo: Shinzansha, 2022. Pp. xii, 382. ....	Masayo Kataoka	516
<i>Ippan Kokusaiboron Josetsu: Kansbukokusaibo Gainen no Tenkai to Riron Kosei</i> [The Foundations of General International Law: The Development of the Idea of Customary International Law and Its Theoretical Construction], by KOMORI Teruo. Tokyo: Shinzansha, 2022. Pp. xviii, 391. ....	KAKU Shun	519
<i>The International Law of Sovereign Debt Dispute Settlement</i> , by Kei Nakajima. Cambridge: Cambridge University Press, 2022. Pp. xxx, 339. ....	Yuka Fukunaga	522
<i>Kokusai Keiji Tetsuzuki Ho no Genri: Kokusai Kyodo niokeru Puremisu no Tokutei</i> [The Rationales of the International Criminal Procedure Law: Identifying the Premises of International Cooperation], by OCHI Megumi. Tokyo: Shinzansha, 2022. Pp.292. ....	KIHARA Masaki	526
<i>Multilayered Structures of International Criminal Law</i> , by Hiromi Sato. Cham: Springer, 2021. Pp. ix, 221. ....	Kuniko Ozaki	529
<i>Kokusaibo o Amu: Kokusai Renmei no Hotenka Jigyo to Nihon</i> [Weaving International Law: Japan and the Work of the League of Nations for the Codification of International Law], by Rikiya Takahashi. Nagoya: Nagoya Daigaku Shuppankai, 2023. Pp. vii, 480, 55. ....	Tetsuya Toyoda	532
<i>Ko no Hikiwatashi-Tetsuzuki no Riron to Jitsumu</i> [Theory and Practice of the Procedure for Handing-Over a Child in Custody Disputes], edited by Kazuhiko Yamamoto. Tokyo: Yuhikaku, 2022. Pp. x, 373. ....	Hajime Sakai	536

<i>Kokusaihochitsujo to Gurobaru Keizai</i> [International Legal Order and Global Economy], edited by Masaharu Yanagihara, Koichi Morikawa, Atsuko Kanehara, and Taro Hamada. Tokyo: Shinzansha, 2021. Pp. xvi, 614. .....	Satoru Taira	541
---	--------------	-----

## JUDICIAL DECISIONS IN JAPAN..... 549

### I. Public International Law

Tokyo High Court, Judgment, February 16, 2023 .....		550
<i>The Japan-Luxembourg Tax Convention for the Avoidance of Double Taxation — Treaty Interpretation — Translation Prepared by the Government — Objects and Purposes — Ordinary Meaning of the Treaty Text</i>		
Osaka District Court, Judgment, March 15, 2023 .....		558
<i>Refugee Status — Fear of Persecution Due to Sexual Orientation — Homosexuality — Standard of Proof</i>		
Tokyo District Court, Judgment, March 16, 2023 .....		566
<i>Tax Exemption — Retirement Pensions of Former ICJ Judges — Article 32 of the ICJ Statute — Treaty Interpretation</i>		

### II. Private International Law

Osaka High Court, Adjudication, May 26, 2021 .....		581
<i>International Child Abduction — Habitual Residence — Infant</i>		
Tokyo High Court, Judgment, January 25, 2023 .....		584
<i>Applicable Law to Vicarious Liability — Traffic Accidents of an Employee on Overseas Business Trips — Escape Clause</i>		
Tokyo High Court, Judgment, October 30, 2023 .....		589
<i>State Immunity — Unrecognized States — Jurisdiction — Place of Tort — Continuous Tort</i>		
Tokyo District Court, Judgment, May 9, 2022 .....		594
<i>Validity of Agreements on Jurisdiction — Sea Carriage Contracts — Surrender Bill of Lading (B/L)</i>		
Tokyo District Court, Judgment, March 27, 2023 .....		597
<i>Applicable Law — Labor Contracts — Mandatory Provisions — Place with Which the Labor Contract Is Most Closely Connected — Place of Business at Which the Worker Was Employed — International Airline Cabin Crew</i>		
Yokohama Family Court, Judgment, March 30, 2021 .....		602
<i>Recognition and Enforcement of Foreign Judgments on Child Custody</i>		

CHRONOLOGY OF JAPANESE FOREIGN AFFAIRS IN 2023 ..... 609

CHRONOLOGICAL LIST OF TREATIES AND OTHER INTERNATIONAL  
AGREEMENTS CONCLUDED BY JAPAN IN 2023 ..... 619

DOCUMENTS

1. Written Statement and Oral Statements of Japan Presented in the Advisory  
Proceeding on the *Legal Consequences Arising from the Policies and  
Practices of Israel in the Occupied Palestinian Territory, Including East  
Jerusalem*. ..... 622

2. Written Statement of Japan Presented in the Advisory Proceeding on the  
*Request Submitted to the Tribunal by the Commission of Small Island  
States on Climate Change and International Law*. ..... 639

ACTIVITIES

I. Activities of the International Law Association of Japan ..... 642

II. Activities of Related Academic Associations in Japan ..... 647

1. Kokusaiho Gakkai (Japanese Society of International Law [JSIL],  
established in 1897) ..... 647

2. Kokusai Shiho Gakkai (Private International Law Association of Japan,  
established in 1949) ..... 659

3. Sekaiho Gakkai (Japanese Association of World Law, established in 1965)  
..... 664

INSTRUCTIONS FOR SUBMISSIONS TO THE JYIL ..... 667